

ウォンズ

他社での実績が買われ新規の取引

富士通のPCユーザー支援を受託

(株)ウォンズ(宇和島市、二宮徳仁社長)は、富士通(株)のグループ会社と業務受託契約を締結し、パソコンの操作や活用方法などに関する相談に電話とリモートサポートで応えるサービス「ワンポイントレッスン」の提供を開始した。

ウォンズは2000年設立。コールセンター事業や企業の事業構築支援、日本とペトナムとの通商支援などを行う。業務受託契約を結んだ富士通クライアントコンピュータインテグレーション(川崎市、以下FCCCL)は、富士通のパソコン「FMV」シリーズを製造販売する。



イメージ

ワンポイントレッスンは、FCCCLが提供するオンライン学習サービス「FMVまなびナビ」に新たに追加されたサービス。FMVユーザーを中心に、OSの基本操作に加え、マイクロソフトのWordやExcel、SNSの使い方

などをサポートする。

ウォンズはユーザーからの電話を同社の松山コールセンターで受け付け、スタッフがユーザーのパソコン画面をリモートで見ながら、困り事の解決を支援する。1回の問い合わせは15分程度を想定。

営業時間は9〜20時。システム保守日を除き土・日・祝日も営業する。料金は「月3回コース」が月額550円。「無制限コース」はスマホの相談も可。タイピング学習サービス付きで同990円。両コースとも初月は「お試し」で無料。無制限コースの月額料金が永続的に110円引きとなるキャンペーンを11月2日まで実施中。

ウォンズにとって富士通グループとの取引は初めて。他の大手パソコンメーカーや通信事業者のユーザーサポートを手掛けてきた実績が評価され、FCCCLから業務を委託された。同社は「リリーフ」6ヵ月で1千人、2年後に3600人の会員獲得を目指す(鈴木直道取締役)としている。

face 顔

野間ひとみさん mom smile フフス 代表



愛定の次女。40歳の次女。走ることにも興味あり。趣味はランニング。父譲り。

野間さんは8月、大洲市田口にサンドイッチ専門店「mom smile e プラス」をオープンした。旬の果物のフルーツサンドや地元の野菜を使ったおかずサンドはたちまち人気となり、午後の

早い時間に完売御礼となる日が続いている。

内子町出身の野間さん。「母が手作りのお菓子を食べさせてくれた影響で、小さい頃からケーキ屋さんになりたいと思っていました」。高校卒業後、

調理製菓専門学校に進学。20歳でパティシエとなり、洋菓子店で働いた。

バイクの免許を取りに通った教習所の教官と結婚。その数ヵ月後に大洲市内でイチゴ農家をしていった義父が亡くなり、夫が農家を継ぐことになった。その後、野間さんも洋菓子店を辞め、一緒にイチゴ栽培を始めた。

規格外のイチゴは、味は変わらないのに半値以下でしか売れない。その活用方法として、自身の

キャリアを生かし、フルーツサンドを販売することを決めたのが2年前。近くの産直市「愛たい菜」に出品し、人気商品となったが、「お客様の反応をじかに見たい」と今回の出店に至った。

イチゴ栽培と兼業のため、店を開くのは週3日ほど。営業情報は随時SNSで発信している。好評のブドウサンドは10月末まで。12月からははいよいよイチゴサンドがショーケースに並ぶ予定だ。

垂直離着陸ドローンを実験 災害時の活用法探る

宇和島市は10月6日、エアロセンズ(株)(東京都)ならびにKDDI(株)(同)の協力のもと、同市総合体育館駐車場で国産VTOLE(垂直離着陸)型ドローンのデモフライトを実施した。

VTOLE型ドローンは▽高度な自律飛行▽滑走路不要の離着着▽固定翼モードでの長距離飛行▽LTE通信を利用した次世代飛行などが特徴。大規模災害時における被害状況の把握や医薬品等の運搬などでの活用が期待されている。



デモフライトは宇和島港周辺を周回。約15キロメートルの距離を約15分飛行した。また、翌日の実証実験では飛行距離を伸ばし、吉田町奥南地区の約22キロメートルを約20分掛けて飛行した。